

校長室だより



第82号

令和4年3月4日

校長 齋藤 瑞穂

ありがとう！6年生 今年度も残り3週間になりました

先週の金曜日の6年生を送る会では、各学年すてきな出し物をありがとう。新型コロナウイルス感染予防対策のため、できることが限られている中で、クイズになわとび対決、6年生一人一人の呼名（名前



を呼ぶこと）と、それぞれ工夫されていて感心しました。6年生にみなさんの感謝の気持ちがじゅうぶん伝わったと思います。

また、6年生のお礼の出し物もすばらしかったですね。合奏「銀河鉄道999」は、なかなか全員そろっての練習ができなかったと聞いていましたが、さすが、6年生！そんなことを感じさせないすばらしい演奏でしたよ。会場でじかに聴くことができた5年生は、「自分たちも来年は負けようがないがんばろう」と思ったことでしょう。真剣に演奏を見つめ、6年生の言葉を聞いている5年生の姿を見て、来年度の杉七小のリーダーとしての自覚が少しずつ芽生えているなあとうれしくなりました。

6年生の卒業まで、また1年生から5年生のみなさんは学年の終了まで、あと3週間です。「終わりよければすべてよし」という言葉もあるように、とちゅうにはいろいろあったとしても最後にはよかったと振り返られる、そんな1年のまとめができるように、残りの一日一日を大切に過ごしましょう。

今世界では

毎日のニュースでみなさんも知っていると思いますが、今、この瞬間にも、命をうばわれるかもしれない恐怖に苦しんでいる人たちがいます。私たちがその人たちのために直接できることはあまりないかもしれませんが、しかし、だれにでもできて、一番大切なことがあります。それは、「考える」ことです。

今こそ、みなさんが日ごろきたえている「はてな」をもつ力を発揮して、考えてください。どうしてこんな悲しいことが起きてしまうのか、どうしたら同じことをくり返さないようにできるのか。簡単に答えが出ることではないし、もしかしたら答えはないことかもしれないけれど、一人一人考え続けてほしいと願っています。

子供川柳 見つめよう 今と未来のわたしたち

この作品は、二学期に作ってくれたのですが、紹介しそこねていました。ごめんなさい。マスクが取れてみんなの笑顔が輝く未来が一日も早くおとすれることを祈っています。

マスクとり 笑顔はじける 未来の世界

五年 寺西 小夏

子供輝く @TOKYO

保護者の皆様

今週は暖かい日が続き、すっかり春めいてきました。東京の桜の開花予想では、ちょうど卒業式のころ桜がはじめて開花するようです。子供たちが満足感と自信をもって笑顔で学年を終えられるよう、残り少なくなった日々を充実させていきたいです。